

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

受賞年月日	氏名	職名等	受賞理由
平成21年 9月25日	中 沢 正 隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器 (EDFA) の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年 3月25日	川 人 貞 史	法学研究科教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加 藤 康 司	工学研究科教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井 上 明 久	金属材料研究所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料『金属ガラス』を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小 柳 光 正	工学研究科教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴 木 厚 人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小 谷 元 子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大 野 英 男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

平成22年度

氏名	職名等	受賞理由
清 水 悟	理学研究科准教授	全学教育科目「解析学」に関する授業において、毎回演習問題を解かせ理解を定着させる工夫をするなどした、優れた授業実践が学生から高く評価された。
佐 藤 英 明	農学研究科教授	アニマルテクノロジーに関わる多くの教科書及び実験指導書の出版を行い、それを活用した優れた講義を行い学生から高い評価を受けた。また、新領域開拓マインドをもつ人材育成に大きく貢献した。
中 尾 光 之	情報科学研究科教授	「産学協同による地域創造型アジアIT人材育成・定着プログラム (ASIST)」を活用し、アジアからの留学生への実践的ITスキルやビジネス日本語能力の修得等、独自のアイデアの実践を通じ本学の教育の国際化及び産学連携教育へ大きく貢献した。
高 木 敏 行	流体科学研究所教授	国際交流戦略室小委員会の活動を通じて、「諸外国との学術交流協定の締結」や「共同教育プログラム」、「サマープログラム」を積極的に推進し、本学の教育の国際交流の発展に大きく貢献した。
山 口 昌 弘	理学研究科教授	「東北大学デイ」事業及び国際広報に関する企画立案・実施を通じて、本学の教育・研究活動を積極的に海外に情報発信する等、留学生受け入れ等本学の教育の国際化の進展に大きく貢献した。
小 谷 元 子	理学研究科教授	

平成21年度

氏名	職名等
スペイン語教科部会	
石 田 秀 輝	環境科学研究科教授
古 川 柳 威	環境科学研究科准教授
末 光 眞 希	学友会文化部長 (電気通信研究所教授)
永 富 良 一	学友会体育部長 (医工学研究科教授)

平成20年度

氏名	職名等
佐 藤 明	医学系研究科准教授
末 松 和 子	経済学研究科准教授

総長賞受賞者 平成22年度

本学の教育目標にかなない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

五十嵐 ゆう子	文学部	柴 本 彩	歯学部
佐 藤 潤 美	文学部	板 井 恵 理	薬学部
白 井 裕 子	教育学部	伊 福 遠 太	工学部
高 田 晃	法学部	苗 村 伸 夫	工学部
米 満 祥 人	法学部	大 友 雄 平	工学部
王 文 博	経済学部	正 直 花 奈 子	工学部
高 橋 裕 美 子	経済学部	嶋 森 修 子	工学部
若 月 雄 大	経済学部	植 田 正 輝	工学部
高 橋 遼 理	理学部	中 島 悠 介	工学部
齊 藤 勇 祐	理学部	大 田 原 眞 祐	農学部
中 谷 貴 之	理学部	高 木 志 秋	農学部
荻 島 信 也	医学部		
齋 藤 明 博	医学部		

修士

岩 田 直 道	工学研究科
加 賀 谷 宗 仁	工学研究科
高 橋 広 樹	医工学研究科

専門職

今 井 智 文	法学研究科
---------	-------

博士

山 本 志 帆 子	文学研究科
横 谷 謙 次	教育学研究科
山 口 朋 泰	経済学研究科
荒 金 俊 行	理学研究科
水 瀬 賢 太	理学研究科
大 森 康 孝	理学研究科
黒 田 康 勝	医学系研究科

住 吉 晃	医学系研究科
安 彦 友 希	歯学研究科
佐 藤 茂 樹	薬学研究科
柴 田 圭	工学研究科
関 根 宗 一郎	工学研究科
遠 藤 将 起	工学研究科
今 井 崇 博	工学研究科
阿 部 健 一	工学研究科
福 田 睦	農学研究科
車 佳	国際文化研究科
Fadlullah Zubair MD.	情報科学研究科
北 西 健 一	生命科学研究科
張 沛 霖	環境科学研究科
行 場 絵 里 奈	教育情報学教育部

学友会長賞受賞者 平成22年度

4年間の競技成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

氏名	部・団体名	氏名	部・団体名
澤 野 正 樹	演劇部	寺 田 あ す か	弓道部
太 田 尚 吾	囲碁部	藤 本 貴 史	トリアスロン部
三 森 創 一 朗	オリエンテーリング部	加 藤 三 香 子	女子ラクロス部

学内表彰

沢柳賞受賞者

「沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

平成22年度

氏名	職名等	受賞部門	受賞課題名
茂木 洋平	法学研究科博士課程後期	研究部門	Affirmative Actionの正当化理由～過去向きのAffirmative Actionと将来志向のAffirmative Action～
阿部 比佐久	理学研究科再雇用職員	プロジェクト部門 (特別賞)	地域の子育て情報交換の場と父親の育児参加を促す企画としての科学普及活動
久利 美和	理学研究科助教		
村上 祐子	理学研究科准教授		

平成21年度

氏名	職名等	受賞部門
下 夷 美 幸	文学研究科准教授	研究部門
青 葉 理 学	学 振 興 会	活動部門
女 性 と 労 働 研 究 会		プロジェクト部門
山 崎 都 病 院 医 員		活動部門(特別賞)

平成19年度

氏名	職名等	受賞部門
齊 藤 綾 美	教育学研究科特別研究員	研究部門
阿 部 未 央	法学研究科博士課程学生	研究部門(特別賞)
工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会 同WGおよび女子学生交流会学生スタッフ		活動部門
尾 崎 博 美	教育学研究科博士課程学生	プロジェクト部門
八 木 美 保 子	教育学研究科博士課程学生	
水 原 克 敏	教育学研究科教授	
水 田 久 美 子	教育学研究科教授	
ヤマモト リシア エミコ	文学研究科専門研究員	プロジェクト部門(特別賞)

平成20年度

氏名	職名等	受賞部門
東北大学川内けやき保育園保護者会		活動部門
トクルムソフ オソトヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門(特別賞)

平成18年度

氏名	職名等	受賞部門
吉 田 浩	経済学研究科助教	研究部門
遠 山 智 子	理学研究科教育研究支援者	活動部門
鈴 木 美 智 子	理学研究科教育研究支援者	
玉 江 京 子	理学研究科助手	活動部門
海老原 孝枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表	
橋 本 鈺 市	教育学研究科助教	

東北大学藤野先生賞受賞者(魯迅賞)

学術交流を通じ東北大学の教育研究の発展に功績のあった中国人又は中国の団体を表彰するものです。

東北大学藤野先生賞

- 平成22年度該当なし
- 平成21年度該当なし
- 平成20年度該当なし
- 平成19年度該当なし
- 平成18年度該当なし

授賞年度	氏名	所属等
平成17年	孫 毅	北京魯迅博物館館長

東北大学魯迅賞

授賞年度	氏名	所属等
平成16年	顧 秉 林	清華大学総長

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

東北大学藤野先生記念奨励賞

授賞年度	氏名	部 局
平成22年	王 疆	経済学研究科
	陳 桂 興	理学研究科
	胡 春 艶	医学系研究科
	張 志 宇	工学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成21年	王 秀 芳	文学研究科
	珠 欄 其 格	医学系研究科
	馬 麟	工学研究科
	車 佳	国際文化研究科
	王 紅 霞	生命科学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成20年	張 蓉 蓉	経済学研究科
	吳 哈 申	理学研究科
	王 保 珍	薬学研究科
	張 宇	工学研究科
	王 弘	情報科学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成19年	王 冷 然	法学研究科
	劉 晨 光	理学研究科
	陳 銳	歯学研究科
	岳 新 艶	工学研究科
	袁 媛	農学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成18年	覃 慧 玲	理学研究科
	杜 璋	医学系研究科
	韓 峰	薬学研究科
	常 春 涛	工学研究科
	侯 旭 濱	生命科学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成17年	薩 日 娜	文学研究科
	金 光 宇	経済学研究科
	代 紅 梅	医学系研究科
	俞 志 前	歯学研究科
	白 晨	工学研究科

学内表彰

本多光太郎記念賞受賞者

国際学術交流を通じ、東北大学の教育研究の発展に功績のあった外国の個人又は団体を随時表彰するものです。

本多光太郎記念賞

平成22年度該当なし
平成21年度該当なし
平成20年度該当なし
平成19年度該当なし



本多記念館

授賞年度	氏名	国籍	所属等
平成18年	パトリック・ブジャン	フランス	国立中央理工科学学校リヨン校 学長
	ルノー財団		
	アルベール・プレヴォ	フランス	国際教育学研究センター 所長
	アラン・ストーク	フランス	国立応用科学院リヨン校 学長
	レオ・ヴァンサン	フランス	国立中央理工科学学校 国際交流部長
	アラン・レザ・ヤバリ	フランス	グルノーブル国立総合技術研究所 教授

平成17年度該当なし

授賞年度	氏名	国籍	所属等
平成16年	ジョン・ストラリー	イギリス	クランフィールド大学名誉教授
	リンゼイ・グリアー	イギリス	ケンブリッジ大学教授
	ロバート・ジェニングス卿	イギリス	元国際司法裁判所長官

東北大学学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク

東北大学は長年にわたり正規の学章、スクールカラー、学生歌を持っていませんでしたが、平成19年6月にこれを制定しました。学章は東北大学ロゴマークとし、スクールカラーは東北大学ロゴマークの公式カラーの「紫」としました。学生歌は、昭和28年度に学友会で学生歌として選定され、歌い継がれてきた「青葉もゆるこのみちのく」としました。

ロゴマークは、平成19年6月に東北大学創立100周年を迎えることを機に、ユニバーシティ・アイデンティティを明確にし、国内外の知名度や信頼性を向上させるため、平成17年4月に制定されました。“creativity” “global” “tradition” をキーコンセプトに、昔から宮城野や仙台を象徴する植物とされている「萩」をモチーフとして、品格を持って、世界に大きく広がっていく動きを表現しています。公式カラーは「紫」と「黒」で、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表しています。

